

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校第4学年

	授業における課題や学力調査資料から見た課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な言語事項の習得 相手や目的に応じて、筋道を立てて話す力の育成 語彙力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 3年までの漢字を復習し、正しく読み書きできるようにする。 話す前に、伝えたい内容を整理してから話す練習を行う。 授業の時に辞書を用意し、いつでも調べられる環境を作ることで語彙力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎学期、3年生までの漢字を復習することで、正しく読み書きできるようになってきている。 モデルを示すことで、内容を整理して話すことができるようになってきている。 指示がなくても意欲的に辞書を活用し、語彙力が高まってきている。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料の活用能力の育成 情報収集能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> グラフ、地図等から読み取ったことを自分の考えや感想を取り入れながらノートや新聞などに表現する力を習得させる。 資料に注目させ、必要な情報を収集させる。 	<ul style="list-style-type: none"> まだ資料を読み取る力は高くないが、自分の考えや感想を取り入れて新聞に表現することはできた。 資料に注目することはできるが、情報を精選することは難しい状況である。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な考え方の育成 算数への関心・意欲・態度の育成 日常生活で関わる様々な量の意味を理解すること 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を読み、自分の考えを図や式に表すことを日常的に取り上げ、習慣化していく。また、定期的なかけ算やわり算の復習を行い、基礎基本の定着を図る。 考える時間を十分に取り、自力解決へ向かえるようにする。 単元の終わりに日常生活でかかわりのあるものを取り上げて、量の意味理解につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業ごとに図や式に表す経験はさせたが、習慣化するまでに至っていない。かけ算やわり算の復習を小数の単元と合わせて行い、基礎基本が定着しつつある。 自力解決へ向かうための時間確保ができた。 授業ごとの設問を工夫し、量の意味理解へつなげることができた。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 関係づけながら調べる能力の育成 分かりやすい表現の仕方の習得 実験・観察用具の技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象の変化に着目して観察したり、自分の考えをもったり、実験方法を考えたりする活動を取り入れる。 実験結果を図や表で表すために、教科書のお手本を使いながら表現できるようにする。 教師が正しく用具を使用できるように呈示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年で計画的に、自分で予想を立てたり、実験方法を考えたりする活動を取り入れることができた。 実験結果を図や表で表し、一人一人が表現することができた。 安全面に気を付けながら正しく活動しようとすることができた。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 本やインターネットから集めた資料を、自分の言葉や表現でまとめられる力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> まとめ方の事例を提示し、自分の課題に合ったまとめ方を選択できるようにする。また、難しい言葉などを辞書などで調べ、意味を理解してからまとめるよう声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集するために本かインターネットどちらが適しているか自分で選択し、パワーポイントや紙面にまとめることができた。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 曲調を捉えた表現を工夫し、思いや意図をもって表現をするための技能の育成 	<ul style="list-style-type: none"> どのように歌ったり演奏したりしたいか思いや意図をもたせるような言葉かけをする。 リレー奏、ペア学習などの学習形態を工夫し、一人一人の技能を高めていく。また、個別指導も随時行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想に合った歌い方を工夫して歌うことができた。 制限のある状況の中でも、様々な楽器に触れ、意欲的に活動することができた。 歌唱や楽器の技能は個人差が見られた。個別指導も継続して行う必要がある。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な道具の使い方や技法を身に付け、場面や用途に応じて扱う力の育成 テーマを理解して、自分なりの発想で表現を工夫しようとする力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 彫刻刀やカッター等の道具を使用する題材を取り入れる。使いたい用途に応じて正しく使えるようにする。 テーマを理解する為に、思いを共有したり、途中経過を見せ合い情報交換したりする時間をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 彫刻刀やカッターは安全に正しく使おうとすることができた。使える道具が増えて意欲的に活動する姿がみられた。 途中経過をスクリーンで見て、テーマについて考えを深めることができた。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫しようとする態度の育成 基本的な技能を向上させようとする態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> チームの話合いの時間を確保する。(友達との距離・間隔を十分に取しながら) 運動後は学習をふり返り、どこに課題があり、何をを目指すのか、学習課題をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの時間を確保したことで、友達と課題を確認し合い、解決に向かう態度を養うことができた。 毎時間ふり返りを行い、一人一人が自分の課題を意識できるようになってきている。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国語に興味・関心をもつ児童が多いが、自信をもって進んで発音すること 	<ul style="list-style-type: none"> キーフレーズやキーワードを身に付けるためのゲームやチャンツを多く取り入れ、リズムを楽しみながら音に慣れ親しんで活動させる。 間違いを恐れずに進んで活動している児童の発話を積極的に認め、励ましていく。 デジタル教材やALTの活用を通して、音を積極的に聞かせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ゲームやチャンツを取り入れたことでリズムを楽しみながら音に慣れ親しむことができた。ALTの発音を聞くことで自信をもって発音しようとする児童が増えている。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことだけでなく、相手の立場に立って物事を考えられる態度、思いやりの心の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 児童にとって身近な具体例を呈示し、共感や葛藤をさせて、意見の交流が活発に行われるような機会を多くする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活を想起させられるような例を呈示することで、共感や葛藤が生まれ、交流が活発になってきている。